

福岡ロジテック 永山社長

K-I-Tの広がり感謝

【福岡】6月に札幌で開催された日貨協連第54回通常総会並びに第14回トラック運送事業協同組合全国大会で、平成29年度WebKIT表彰が行われた。

「組合員の部」では、平成29年4月1日から同30年3月31日までの荷物・車両それぞれの成約件数が多い事業者として、ネットワーク九州協同組合の福岡ロジテック（永山浩二

社長、糟屋郡宇美町）が荷物情報成約件数部門と車両情報成約件数部門で1位となった。同社はこれまでにも両部門で1位を獲得し続けるなど、顕著な成果を上げた事業者であり、永山社長に受賞の喜びを聞いた。

これまでを振り返り、「日本貨物運送協同組合連合会のWebKITで4年連続日本一を達成し、この求荷求車シ

ステムを始めたのは20年前、現在2500社以上が加盟しているWebKITも、現在ほど情報がなかった。月に100万円、件数で言えば10件も成約出来ていたら喜んでいたら記憶している」と同社長。このよう

な中、「年に2〜3回、東京や大阪で開催される会議や大会に参加し、多くの方々と名刺交換を行い、ハガキやニュー

スレターなどを20年間発送し続け、人脈づくりを励んだ」とし、WebKITで交換した名刺は1000枚を超えたといい、

協会とは別に活動するK-I-T有志の会を10年前に立ち上げた。はじめは三重県で発会式と研修会を開き、それが充実した経営勉強会となり、山形県の会員が「これを1回で終わらせるのはもったいない」と、第2回大会を山形県で開催する流れとなった。

その際、同社長は「第3回大会を福岡県で開く」と宣言し、福岡大会には100人を超える人が集まった。その後1000万円成約していたにもかかわらず、2位だった。月6000万円、成約件数では月に700件で、どうにか1位を獲得し表彰に至った」という。年々売り上げが増加している。目標については「会員数も増え、以前よりも勢いが増している。WebKITの広がりのおかげで会社は大きく成長した。たくさん仲間が全国に出来たことに感謝し、これからもK-I-Tの活動を続けた」としている。



表彰を受ける永山社長(右)

「今年も苦しみもあったが、今年も途中で

（青柳 翼）